

## 第5学年社会科学学習指導案

### 1 小単元名 「自動車工業のさかんな地域」

### 2 指導観

#### (1) 子どもの実態

資料から事実を読み取る技能について、写真や文章などの一つの資料から事実を見つけることはほぼ全員できている。また、一つ一つの事実だけではなく、全体を見て分布を読み取ったり変化を読み取ったりする力も少しずつついてきている。しかし、1つの資料の2つの事実を関連させて読み取ったり、2つの資料をつなげて読み取ったりする力はまだまだ不十分である。

#### (2) 教材の価値・意義

本小単元では、学習指導要領解説社会科編内容(3)「我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていること」を考えさせるために、子ども達の生活にも関わりが多い自動車工業を取り上げる。子ども達の生活を想起させ日本全国の自動車の保有台数をつなげることで、我が国にとって役割の大きい工業であることがつかみやすいと考える。また、自動車工場で働く人の工夫や努力を追究していくことで、自動車工業が国民生活を支える役割を果たしていることを考えることができる。さらに、身近な自動車だが、調べるためには、地図や文章などの資料活用が必要となる。よって基礎的・基本的な知識・技能を身につけさせる上でも、本小単元は価値ある教材である。

#### (3) 指導・支援の方法

##### 【つかむ段階】

- ・ 自動車について知っていることを出し合い、興味・関心をもたせる。
- ・ 一台に約2万5千個も部品があることと一日に約2200台生産されることから学習問題をつくらせる。

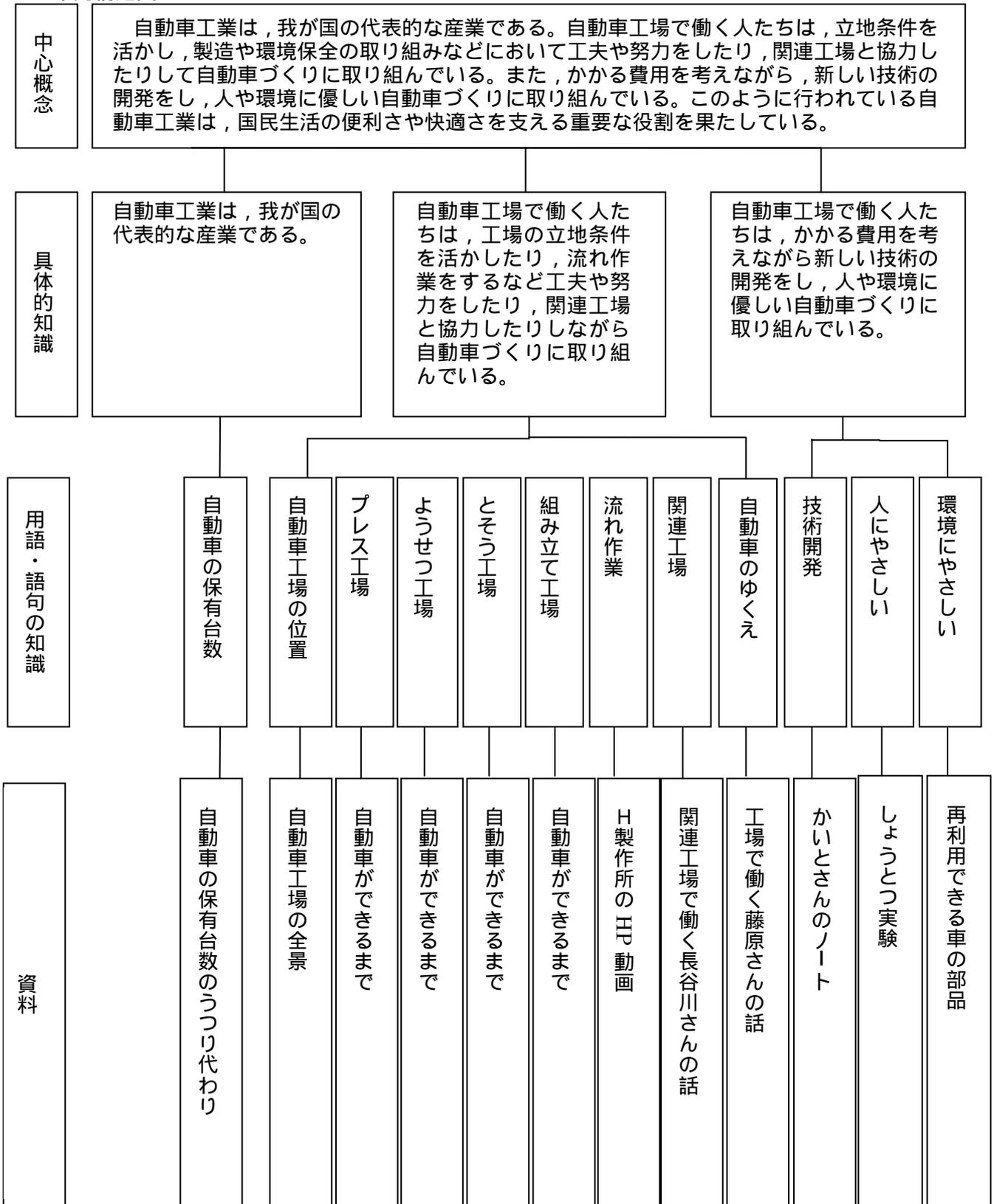
##### 【さぐる段階】

- ・ 学習問題の答えを予想・交流させ、学習計画をつくらせる。
- ・ 学習計画に沿って予想を確かめる追究活動を行う。
- ・ 予想別で中間交流を行い、資料から読み取った事実を交流させる。

##### 【まとめる段階】

- ・ 全体交流を行い分かったことをまとめ、学習問題の答えを考えさせる。
- ・ 自動車の輸送方法について理解する。
- ・ これからの自動車づくりについて考えさせる。

### 3 単元構造図



4 指導計画

段階	配時	主な学習活動と内容( )資料(・)	身につけさせたい技能	留意点( )評価規準( )
つかむ	1	<p>1 自分と自動車の関わりについて出し合い,資料をもとに学習問題をつくる。</p> <p>(1) 自動車を生活で使う時を出し合い,興味・関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の家の自動車について</li> <li>日本の自動車の保有台数</li> </ul> <p>(2) 自動車の部品の数と組み立て時間から学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師の自動車を見る。</li> <li>一台に約3万個の部品</li> <li>一日に約2千台の生産</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の家の車と日本全国の増加する保有台数をつなげて我が国にとって役割が大きいことに気付くことができる。【グ】</li> <li>実物を見て部品の多さや形の多様さに気付くことができる。【物】</li> </ul>	<p>自動車が家にあるかどうかや使う頻度を出し合うことで,よく使われていることに気付くことができるようにする。</p> <p>部品の数の多さと組み立て時間の長さのずれを感じさせることで,疑問をもつことができるようにする。</p>
	1	<p>2 予想を出し合い,学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車工場の全景</li> </ul> <p>(1) 調べること</p> <p>つくり方の工夫</p> <p>たくさんの人でつくっている 分担してつくっている 機械も使ってつくっている</p> <p>働く人の努力</p> <p>休みなしでしている はやいつくり方を考えている</p> <p>(2) 調べ方 教科書・インターネットなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の大きさと広さを見て予想の根拠にすることができる。【写真】</li> </ul>	<p>建物の大きさと広さ,たくさん・はやくを根拠に考えることで,予想をつくることができるようにする。</p> <p>予想を2つに分けて板書し共通の言葉や共通の人物からキーワードを見つけることで,視点をつくることができるようにする。</p>
さぐる	2	<p>3 学習計画にそって調べる。</p> <p>(1) 自分の視点を調べる。</p> <p>つくり方の工夫</p> <p>人と機械で分担してつくっている 流れ作業でつくっている 関連工場と協力してつくっている 2交代制で働いてつくっている</p> <p>働く人の努力</p> <p>はやくできる機械を考えている 働きやすい道具の改良 作業がおくれないように気をつけている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真資料をつなげて見ることで,分担して流れ作業をしていることを読み取ることができる。【写真】【映像】</li> <li>文章からキーワードを見つけることができる。【文章】</li> </ul>	<p>調べて分かったこと・資料のどこから読み取ったかノートにまとめていくことで,資料から分かる事実をつかむことができるようにする。</p>
	1	<p>(2) 同質のグループで話し合い,調べたことを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループで話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車工業で働く人の内訳と自動車工場の周りの地図を関連させて読み取ることができる。【グラフ】【地図】</li> </ul>	<p>話し合い方を確認することで,資料から分かった事実をつかむことができるようにする。</p>
本時				

ま と め る		<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車工場における関連工場の力の大きさを知る。</li> </ul>		<p>2つの資料から分かることを問うことで、関連させて一つの事実を読み取ることができるようにする。</p> <p>交流や新たな資料から必要な情報を読み取っている。【技能】</p>
	1	4 全体交流を行い、学習問題の答えを考える。		
	1	(1) 学習問題の答えを話し合う。 (2) 自動車のゆくえについて知る。		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題の答え</p> <p>自動車工場では、人と機械で分担したり流れ作業をしたり、関連工場と協力したりするなどつくり方の工夫やはやくできる機械を考えたり働きやすい道具を考えたりする働く人の努力があるから約3万個も部品のある自動車を短時間でつくることができる。</p> </div>		
	1	5 これからの自動車づくりについて考える。		<p>値段を考えることで、かかる費用を考えてつくっていることに気付くことができるようにする。</p>
	1	6 学習したことを新聞にまとめる。		

## 5 小単元目標

我が国の自動車工業について関心をもち、自動車工場で行われているつくり方の工夫や働く人たちの努力を意欲的に調べることができる。 (関心・意欲・態度)

自動車工場で行われているつくり方の工夫や働く人たちの努力があり、自動車が国民生活の利便さや快適さを支える重要な役割を果たしていることを考え、表現することができる。 (思考・判断・表現)

自動車工場で行われているつくり方の工夫や働く人たちの努力を、地図や図、文書資料などを活用して調べることができる。 (観察・技能)

自動車工場で行われているつくり方の工夫や働く人たちの努力によってできていることや、これからの車づくりの工夫をしていることを理解することができる。 (知識・理解)

## 6 本時(5/9)

平成24年 月 日( ) 第5学年 組教室

## 7 本時の目標

交流活動の中で提示された資料や新たに提示された資料から、調べたことが自分の考えにつながるか確かめることができる。 (観察・技能)

## 8 本時指導にあたって

これまで子どもたちは、予想を確かめるための追究活動を通して、資料の読み取りを行ってきた。本時は読み取った事実の交流を通して、調べたことを確かめたり、一人ひとりが資料活用の技能を高めたり、新たな知識を獲得したりすることをねらいとしている。

このようなねらいを達成するために、以下のような手だてをとる。

一人ひとりが技能を高めることができるように、追究活動で活用した資料をもとに交流活動が活発になるようなグルーピングを行う。

資料を読み取らせるために、調べて分かったことから根拠となる事実を確かめる活動を設定する。そのために、分かったことをボードに資料は指しながら話し合い活動を進めるようにする。

一人ひとりの考えを高めるために、事実につけ加えをすることができる資料を新たな資料として提示する。

一人ひとりの新に加わった知識や考えの変容を明らかにさせるために、視点を明確にして「今日の学習で」を書かせる。

## 9 本時の展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点( )資料(『 』)評価( )
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて グループで話し合い、調べたことを確かめよう。</p> </div> <p>2 グループで調べて分かったことを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>つくり方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流れ作業をして車づくりをしている。(P9の自動車ができるまでの資料から)</li> <li>・ 自動車工場では機械と人と両方の力で自動車づくりをしている。(P9の自動車ができるまでの写真にプレス工場が機械が部品をつくり人が点検しているところから)</li> <li>・ 関連工場の人部品をつくり自動車工場に届けて自動車づくりをしている。(P16の写真から車の一部のシートを関連工場の人がつくっているから)</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>働く人の努力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はやくできる機械を考えている(P11の工場の人話から)</li> <li>・ 働きやすい道具の改良(P13の写真から)</li> <li>・ 作業がおくれないように気をつけている(P13の工場の人話から)</li> </ul> </div> <p>3 新たな資料を読み、関連工場の多くの人自動車づくりの大きな力になっていることを読み取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>分かったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車工業で働く人の3/4が部品をつくっている関連工場の人である。</li> <li>・ 自動車工場の周りにはたくさんの関連工場が集まっている。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>考えたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車づくりには関連工場の多くの人自動車づくりの大きな力になっている。</li> </ul> </div> <p>4 「今日の学習で」を書き本時を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分が調べたことは、自動車工場では人と機械で流れ作業をしながらつくっているつくり方の工夫だったけれど確かに答えだと思いました。けれど、 さんの話を聞いて、関連工場の人部品をつくっていることも答えだと付け加わりました。そして、その関連工場の人力は自動車づくりの大きな力になっていることも分かりました。</p> </div>	<p>指導上の留意点( )資料(『 』)評価( )</p> <p>既習の掲示物を使うことで、前時までの学習を振り返り、本時のめあてにつなぐことができるようにする。</p> <p>以下のように話し合いをさせることで、資料から分かる事実の読み取りを全員が確実にできるようにする。 調べて分かったことを伝える。 根拠となる資料を話し合う。</p> <p>分かったことをボードに書かせ話し合いをさせることで、視覚的にも読み取ることができるようにする。</p> <p>自動車工業で働く人の内訳と自動車工場と関連工場の地図を見せることで、関連工場の多くの人自動車づくりの大きな力になっていることを読み取ることができるようにする。 2つの資料から関連工場の多くの人自動車づくりの大きな力になっていることを読み取っている。[技]</p> <p>板書を使ってまとめをしたあとで書かせることで、事実を落とさずまとめることができるようにする。 書き方の視点を提示することで、一人ひとりが新に加わった知識や考えの変容を表現できるようにする。 始めは～だと思っていました。 でも さんの資料から( さんの話を聞いて)～だと付け加わりました。</p>

## 10 板書計画

### 自動車工業のさかんな地域

#### 学習問題

なぜ自動車工場で働く人たちは、3万個も部品がある自動車を短時間でつくることができるのだろうか。

#### めあて

グループで話し合い、調べたことを確かめよう。

#### 予想

つくり方の工夫

働く人の努力

#### 話し合いの仕方

##### 話す人

- ・調べて分かったこと（ボードを見せて）
- ・資料（指でしめして）

#### 話し合いの仕方

##### きく人

- ・確かめる
- ・質問
- ・感想

自動車工業で働く人の内わけ

鈴鹿市周辺にあるおもな関連工場

（分かったこと）

- ・働いている人は関連工場の人の方が多い

（分かったこと）

- ・自動車工場のまわりにはたくさん関連工場がある

（考えたこと）

- ・関連工場で働く多くの人が自動車つくりの大きな力になっている